

# 令和6年度デジタル田園都市国家構想交付金を 活用した事業等の一部変更・追加

# 活動指標の変更

※今回変更部分は赤字で記載

## No16 次世代スマートヘルススタートアップ創出事業

### 【経緯】

令和6年度第1回デジタル田園都市国家構想交付金事業として申請していたが、不採択となったため、第2回公募に再度申請。再申請に向けた調整の中で、事業の活動指標を再検討し、変更することとなった。令和6年8月19日に交付決定を受けた。

### 次世代スマートヘルススタートアップ創出事業【デジタル田園都市国家構想交付金活用事業】

次世代スマートヘルス分野のスタートアップ支援に係る「エコシステム」を確立し、大阪のスタートアップ支援拠点としてのプレゼンスを万博を通じて世界に示すため、①当該分野のスタートアップの発掘、②同スタートアップの治療・予防アプリ等の社会実装支援、③万博開催の機を捉えたスタートアップの治療・予防アプリ等の社会実装機会の拡大支援に取り組む。

	活動指標	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額
変更前	次世代スマートヘルス分野の支援対象スタートアップ発掘数	100社	60,307千円
	万博開催の機を捉えた次世代スマートヘルス分野のスタートアップの世界への発信数	60社 ※R7年度までに	
	次世代スマートヘルス分野のスタートアップの治療・予防アプリ等に係る府民の認知度	60% ※R7年度までに	
	次世代スマートヘルス分野のスタートアップの治療・予防アプリ等を導入する府内医療機関	10機関増 ※R7年度までに	



	活動指標	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額
変更後	「大阪における『デジタルヘルス分野を専門領域とするスタートアップ支援機関の確保』及び「スタートアップへの大阪の求心力の確保」による新規雇用者数	52人	60,307千円
	新たに大阪府内で事業展開するスマートヘルス分野のスタートアップ数	24社	
	治療・予防アプリ等によって健康づくりに取り組む府民の数	110,400人	
	情報提供基盤（WEBサイト）「デジタルヘルスマーケットプレイス」の閲覧数	75,900PV	

# 活動指標の変更

※今回変更部分は赤字で記載

## No38 外国人材受入促進・共生推進

### 【経緯】

令和6年1月に「OSAKA外国人材受入促進・共生推進協議会」を開催し、「外国人材の受入れ・共生のための取組みの方向性」をとりまとめたところ。今後、協議会の下に設置した「受入促進ワーキング」及び「共生推進ワーキング」において、効果的な施策について検討を進めていく。

### 外国人材受入促進・共生推進

官民連携による「地域協議会」を運営し、外国人材の受入環境整備や共生社会づくりに関する効果的な取組の推進を図る。

変更前	活動指標	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額
	地域協議会の設置・運営、協議会の開催		1回



### 外国人材受入促進・共生推進

官民連携による「地域協議会」及び同協議会に設置した「受入促進ワーキング」及び「共生推進ワーキング」を運営し、外国人材の受入環境整備や共生社会づくりに関する効果的な取組の推進を図る。

変更後	活動指標	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額
	地域協議会及びワーキングの開催		計5回

# 新規事業の追加

企業版ふるさと納税制度を活用した寄附の募集を開始することに伴い、下記2事業を新たに追加。

## I 若者が活躍でき、子育て安心の都市「大阪」の実現

### 基本目標② 次代の「大阪」を担う人をつくる

#### 基本的方向（1）次代を担う人づくり

#### 大阪教育ゆめ基金活用事業【企業版ふるさと納税活用事業】

教育課題に的確に対応し、大阪の子どもたちの確かな「学び」と「はぐみ」を支えるため、「スポーツ指導・体力向上支援推進費」等の教育庁が実施する事業に基金を活用する。また、府立・私立高校等や府立図書館等の教育機関を指定した寄附も可能であり、その場合は指定された教育機関において子どもたちの教育のために基金を活用する。

活動指標・予算額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
				R5年度実績 (当初目標値)	R5年度予算額
	【スポーツ指導・体力向上支援推進費】 R9年度を目途にした「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」での得点	全国平均をめぐす	1,878千円	OR5小学生男女平均体力合計点 ・全国：約53.4点 ・大阪府：約52.0点(全国差▲1.4点) OR5中学生男女平均体力合計点 ・全国：約44.1点 ・大阪府：約43.0点(全国差▲1.1点)	1,864千円

## III 東西二極の一極としての社会経済構造の構築

### 基本目標⑥ 定住魅力・都市魅力を強化する

#### 基本的方向（2）都市魅力の創出・発信

#### 能登半島地域の子ども大阪観光招待事業【企業版ふるさと納税活用事業】

能登半島地震で被災した子どもたちを2025年大阪・関西万博と大阪に招待し、未来社会を体験することで将来の希望につなげてもらうとともに、観光を通じて大阪の都市魅力を発信する。

活動指標・予算額	項目	R6年度目標値 (R7年3月末時点)	R6年度予算額	【参考】	
				R5年度実績 (当初目標値)	R5年度予算額
	子ども及び保護者の招待（宿泊）者数	80組 160人 ※R7年度までに	16,056千円 (R7との事業費30,000千円)	— (R6年度新規事業)	— (R6年度新規事業)